

市民等の皆様から寄せられた
意見・提言などの概要
《集約版》

鴨 川 市

○ ３ページ以降の寄せられた意見・提言などについては、以下の分野・施策に沿って分類しています。

分 野	施 策
行政運営	(１) 広域行政の推進（粗大ゴミ処理・常備消防・救急業務・火葬場など）
	(２) 行財政運営の効率化及び健全化
	(３) 市有財産の適正な管理
	(４) 広報誌・ホームページによる市政情報の発信及び市民からの意見聴取
	(５) 情報公開及び個人情報保護制度の適切な運用
	(６) 高度情報化施策の推進（地デジ対応、光回線、インターネットの活用など）
生活環境	(７) 消防施設・設備の整備充実
	(８) 自然災害に対する防災対策の充実（避難所・備蓄倉庫の整備など）
	(９) 交通安全対策の推進
	(10) 防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進
	(11) 自然環境・景観の保全
	(12) 公害防止等の環境保全施策の推進
	(13) ごみ処理体制・リサイクル体制や施設の整備充実
	(14) 省エネルギー化、再生可能エネルギーの活用など地球温暖化対策の推進
	(15) 花壇の設置など環境美化の推進
交流・人権	(16) 地区コミュニティ施設の充実や地域活動の促進
	(17) 市民と行政との協力（協働）によるまちづくりの促進
	(18) 新たな会館施設の整備促進
	(19) 国際交流、姉妹・友好都市との交流活動の促進
	(20) 大学との連携・協働による地域課題等への取り組みの促進
	(21) 男女共同参画社会づくりの推進
健康・福祉	(22) 保健サービスの充実・促進（検診・予防接種の促進等）
	(23) 地域における健康づくり活動の促進
	(24) 地域医療環境の充実（看護師の確保、国保病院の整備充実など）
	(25) 低所得世帯等への社会保障の充実
	(26) 保育サービスの充実、施設の整備
	(27) 子育て支援施策の促進
	(28) 高齢者施策の充実（見守り・支え合いの仕組みづくりなど）
	(29) 障害者施策の充実（自立支援、バリアフリー化の推進など）
産業・経済	(30) 商業の振興（商店街の活性化支援等）
	(31) 工業の振興（既存企業の支援等）
	(32) 消費者トラブルや悪質商法等への対応の充実
	(33) 農業の振興（生産基盤整備、担い手育成、有害鳥獣対策など）
	(34) 水産業の振興（漁港の整備、水産資源の増繁殖の促進など）

産業・経済	(35) 畜産業及び林業の振興
	(36) 第１次産業の６次産業化又は農商工連携の推進
	(37) 都市と農山漁村の交流促進
	(38) 移住・定住の促進（住宅の取得等支援、UIJ ターンの推進など）
	(39) 企業誘致の促進、起業の支援等による雇用の場の確保
	(40) 雇用対策の推進（ハローワークの機能充実、求人情報の提供など）
	(41) 観光関連施設の整備（観光案内看板の設置、街路灯整備など）
	(42) 観光資源の発掘・創出（滞在型・体験型観光の推進など）
	(43) 誘客の促進（観光イベントの開催、観光情報の発信など）
	(44) 外客受入れ体制の充実（近隣市町、観光関連団体との連携など）
生活基盤	(45) 国・県道など幹線道路網の整備促進
	(46) 市道の整備（舗装・側溝整備・拡幅など）
	(47) 公共交通の便の充実（鉄道・高速バス、市内路線バスなど）
	(48) 下水路・排水処理施設の整備
	(49) 都市計画マスタープランに基づく計画的な土地利用の推進
	(50) 住民の憩いの場の整備充実（公園・緑地・水辺など）
	(51) 住宅・住環境の整備支援（耐震診断、リフォーム支援など）
	(52) 市営住宅の適切な維持管理
	(53) 治山治水事業など防災対策の推進
	(54) 上水道施設の整備等による安全で安定的な浄水の供給
教育・文化	(55) 学校教育の振興（施設整備を含む）
	(56) 小中学校の統廃合による学校適正配置等の推進
	(57) 小中学校施設の耐震化事業の推進
	(58) 幼児教育の振興（施設整備を含む）
	(59) 幼保一元化の推進（施設整備、預かり保育の実施など）
	(60) 学校給食の充実（施設の適切な維持管理、地産地消の推進など）
	(61) 通園・通学における安全性の確保（スクールバスの運行、通学路の安全対策など）
	(62) 小中学校の統廃合に伴う廃校など遊休施設の有効活用
	(63) 大学関連教育研究機関との交流の促進
	(64) 体験教室や公民館活動など生涯学習活動の振興
	(65) 公民館、図書館など社会教育施設の整備
	(66) 青少年健全育成活動の促進
	(67) 歴史資源や文化財の適切な保全及びその活用
	(68) 市民の芸術・文化活動の振興
	(69) スポーツ施設の整備充実
	(70) 市民スポーツの振興（地域スポーツ団体等の活動支援など）
その他	(71) その他

1 行政運営

(2) 行財政運営の効率化及び健全化 [13件]

- ・ふるさと納税をもっと推進してほしい。 [3件]
- ・合併特例債を有効活用してほしい。(特にインフラ整備など)
- ・国民健康保険税の税率を市民に配慮したものとしてほしい。
- ・市の人件費を削減してはどうか。
- ・事業財源を確保するため、より多くの国県補助金等を戦略的に活用してほしい。
- ・人口減少対策に特化した検討組織を立ち上げる。
- ・ネットワーク環境の整備により、各種証明の発行や公共料金の決済等に係るサービスの向上を図る。
- ・市への寄附金制度である「ふるさと納税」をより一層推進する。
- ・クラウドファンディングを導入し、まちづくりに対する寄付を募る。
- ・メリット及びデメリットを勘案した上で、行政事務のアウトソーシングを推進する。
- ・行財政運営に関する若い職員のアイデアを聴取し、出来る限り行政運営に反映させる。

(3) 市有財産の適正な管理 [2件]

- ・地域ごとの課題に対応するため、公共施設の機能見直しと適正配置を行う。
- ・公共施設の除却に伴う土地の取り扱いについて、借地の場合は返却し、市有地であれば積極的に企業誘致に活用する。

(4) 広報誌・ホームページによる市政情報の発信及び市民からの意見聴取 [7件]

- ・今回の地区別懇談会より少数単位で市民の意見を聞いてほしい。
- ・より多くの住民から意見を聴取したうえで、関連施策を集中的に進めることとしてほしい。
- ・これまでに取り組んだ施策の成果について、より市民にわかりやすく情報発信してほしい。
- ・前向きな市民の意見を聴取できる場をつくる。
- ・市外から転入された若年層にスポットを当て、「市内での居住に関する改善点」を聴取する。
- ・市内外への情報発信をより一層推進する。
- ・まちづくりビジョンは広く市民の共通認識とする必要がある。

(6) 高度情報化施策の推進(地デジ対応、光回線、インターネットの活用など) [3件]

- ・Wi-Fiや光ファイバーを積極的に導入し、市内のインターネット環境を充実させる。
- ・市ホームページに誰でも自由に書き込みのできる「掲示板」を導入する。

◆ 情報基盤関連 (延べ5件)

- ・ラジオ全ての局の放送が聞ける中継基地、又はアンテナは出来ないだろうか。今、NHKがかすかに、ベイエリアが一局のみ。テレビだけが情報。自分は眼が悪いから、ほとんどラジ

オに頼っている。

- ・災害情報などの防災無線は聞こえないので、Twitter、Facebook などリアルタイムの情報更新ができるツールの活用も並行してお願いしたい。何かあった時にスマホやPC で見るページがない（市の HP は役に立たないので）。

- ・「みまもりサポートシステム」や埼玉県和光市における高齢者に対するアンケート（データベース化）等、予算・人員の限られた地方都市だからこそ、IT を積極的に活用すべきだと思います。

◆ 財政関連（延べ 12 件）

- ・借金返済の目安を市民に示し、財政の健全化に取り組んで欲しい。
- ・どこの市町村も大変ですが、行政のスリム化、議員を減らす、公務員も能力給にする。どこの会社でもやっている事です。大事な税金は本当に必要な事に使ってほしい。
- ・まずは財政の再建を要望します。
- ・市民会館を建て直す前にもっと優先してお金を使うべき所があると思います。

◆ 税金・公共料金関連（延べ 11 件）

- ・税金が高いと思います。両親もおどろいていましたが、ゴミ袋 10 枚入りで 600 円以上は考えられない。家族がたくさんいる人達は大変だと思う。
- ・給料が安い割には税金などが高いかな。考えてください。
- ・税金の使い道（細部まで公表してほしい。エンピツ 1 本、紙一枚、封筒等）。鴨川大好きな夫婦より。
- ・給与所得者の立場からは農業自営者等の納税について不公平感・不信感を感じる。
- ・鴨川市は他市より介護保険料、税金、市職員の人件費等が高い。

◆ 市民との対話関連（延べ 4 件）

- ・市長さんも、市内を見回ることも必要。
- ・退職後、議会の定例会には前市長時に何度か傍聴に行きましたが、市民の関心がなく、傍聴席は毎回がらがらなのは失望致しました。何が原因でしょうか？鴨川は何を言っても無駄ですよという声が多いようです。市民の声をもう少しよく聞き、市民の為の行政をして頂きたい。最近の例を申しますと、市民会館の問題、主基の小中学校の文理開成の土地の件、鴨川中の問題等、その他昔から色々と問題な点が多いように思われます。陰では色々と市政に対する不満はかなり多いです。過去にさかのぼるとまた色々ありますから、今回はこれ位にしておきます。乱筆乱文失礼致します。

◆ 市職員関連（延べ 28 件）

- ・職員の削減。雇用の場の確保。職員の給料の削減。
- ・若い職員は大変良く動いていると思う。しかし、管理職は必要ないと思える者が大変多い。
- ・職員、議員の人数削減。職員の質の向上。赤字対策。

・市役所に行くたびに感じるのですが、職員の方の活気が感じられません。玄関にいる方は良いのですが、特に税務課の方など、いつ行っても、顔を見てもあいさつもしてくれず、いつも気分を悪くして帰って来ます。「まちづくり」などと議論する前に、もっと基本的なことで模範を見せて下さい。

・市役所の職員、ふれあいセンターの職員、もう少し人間味ある人たちに変えてほしい。愛想がなく、こっちの質問等に対してバカにしているような態度をとられて毎回、不快な思いをしています。接遇の研修等、行った方が良いのでは？

・市役所、電話対応が悪い。要領が得られずたらい回し。態度の悪い人もいる。個人のプライバシーが守られているか不安。仕事上得た情報をもらしていないか。紙の上での仕事が多く、人に寄り添っていないと感じることがある。

・現実に市職員に質問しても答えられない事が多々あるので、もう少し教育してもらいたい。課を問わず。

◆ 情報提供関連（延べ 17 件）

・鴨川市で行っている制度をわかりやすく、まとめて見れる冊子がほしい。

・鴨川市に移住して 1 年程ですが、未だに広報誌とか読んだことがありません。市役所に行かないともらえないのですか？以前の住まいは町内会で配布していました。

・市のホームページが見にくい。鴨ナビもあまり使いやすくない。更新が少ないと思う。

・P12 安全性、P18 まちの防犯対策について。防犯等のアナウンスが全く聞こえない。何を発しているのか聞き取れないことがほとんどなので、何か対処できるとよいと考えます（住まいにいても、職場にいても）。職員がところどころに位置して、アナウンス状況を実際に確認してみてもはどうでしょうか。

・私たちは市政、福祉情報などほとんど知り得ません。なんらかの形で情報共有できる機会を作って頂けたらと望みます。ごくろうさまです。

・防災無線が聞こえない。ほとんど役に立っていない。

◆ 議員関連（延べ 4 件）

・市会議員の定数削減を要望します。館山市は当市より人口が多いのに 18 人です。当市は 20 人。あきらかにおかしい。聞くところによると、議会等に登場しない議員もいるとの事ですが、事実でしょうか？15 人くらいが適当だと思います。

・市議会議員の 1 年間の活動報告、及び収入。

◆ 市のサービス提供体制（延べ 4 件）

・土日に役所とのやり取りができないのはこの時代どうかと思う。

・財政難ということもあってか、既存の施設・整備の維持管理が疎かになっている。修理・修繕が必要なものへの対応が後回しになっている。市道などの点検も、組長まかせでなく、職員が見廻ってもいいと思う。

2 生活環境

(7) 消防施設・設備の整備充実 [2 件]

- ・救急車を増備してほしい。
- ・公共施設の A E D 設置場所について周知徹底をしてほしい。

(8) 自然災害に対する防災対策の充実（避難所・備蓄倉庫の整備など） [16 件]

- ・災害時の情報基盤の整備をしてほしい。（防災無線の不調・難聴地域の改善、子局の増設、デジタル防災ラジオの周知徹底など） [5 件]
- ・安全な避難体制の確立をしてほしい。（現地に即した避難地域の割り振り、避難場所での浄水器などの備蓄、携帯電話の圏外解消、防災タワーの設置） [4 件]
- ・防潮堤のかさ上げをしてほしい。
- ・旧市町の小学校区を単位とした防災拠点の整備を進めてほしい。特に長狭地区は防災拠点としての環境に優れているため、機能強化に努めてほしい。
- ・津波など自然災害対策が必要 [2 件]
- ・釜石市を参考に、津波避難シュミレーションを活かした防災教育に取り組む。
- ・住民が自ら行う防災関連の工事に対する市の補助制度を創設する。
- ・市外からの来訪者に対し、避難場所だけでなく避難経路の周知の徹底を図る。

(9) 交通安全対策の推進 [6 件]

- ・危険な箇所や通学路等の安全対策を進めてほしい。 [5 件]
- ・高齢化が進み交通事故も増えていることから、国県道や市道への横断歩道の設置や歩道の整備を進めてほしい。
- ・プロムナード沿いの駐車取締りを強化する。

(10) 防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進 [2 件]

- ・安全に配慮して街灯・防犯灯を増設してほしい。 [2 件]

(11) 自然環境・景観の保全 [7 件]

- ・海岸の保全整備に十分に配慮してほしい。（砂の流出防止、サーフィン大会の誘致等） [2 件]
- ・豊かな自然環境をまちづくりに活かしてほしい。
- ・うなぎや鮎など川の生物を増やすため、砂防ダムに魚道を設けてほしい。
- ・観光名所の周辺の草刈りなど定期的な維持管理をお願いしたい。
- ・恵み豊かな自然環境を守ることで、気持ち和らぐ「自然環境都市」を目指す。
- ・景観条例を制定し、良好な景観の形成を推進する。

(12) 公害防止等の環境保全施策の推進 [3 件]

- ・河川の水質悪化が見られるため、まずは水質検査をお願いしたい。
- ・生活ごみを自分で焼却処分する家庭があるため、環境教育などの対策をとってほしい。

- ・市外からのゴミの持ち込みや、ポイ捨てに対する防止対策を強化する。

(13) ゴミ処理体制・リサイクル体制や施設の整備充実〔3件〕

- ・ゴミ収集員は少しでも分別が悪いと持って行かない！高齢になると分別がうまくいかない。臨時職員を増やし、分別をゆるくするべき？
- ・ごみの回収日が少ない（人のごみ…隙間が少しでもあると盗む人もいます。ゴミ袋の大きさのサイズを増やすとかしてほしい）。
- ・一つだけアイデアを書かせて頂きます。「ゴミ集積所」何とかありませんかね？各地区と地域交流がある人は、自分の捨てる場所が分かっているのですが、大きい集積箱を持っている所は、他地区から来た人がゴミを捨てて行くのです。…延々この話をするつもりはありません。「何でも引き取り屋」無いですか？車も PC でも産廃でも何でも、日時関係ナシ。「このゴミはコチラに今後捨てれば良いですよ！」とか。この会社はコレも引き取ってくれますとか、市内の業者を紹介してくれば良いです。既存の市内の仕事にもなりますし。人口のあまり多くない所だから、手間のかかる事が楽しいと思うのですが…。ゴミはタダで手に入る宝です。これからどんどん増えるゴミに今のうちからよく対策を考えておいた方が良いと思います。

(15) 花壇の設置など環境美化の推進〔2件〕

- ・花壇設置などの環境美化に力を注ぐ。
- ・道路沿いに花やヤシの植栽を行い景観の整備を図る。

◆ 消防・防災体制（延べ 22 件）

- ・市民会館は津波等の心配がない所に建設し、災害等の時、市民が避難できる様にする。
- ・災害に強いまちづくりを願っています。
- ・トンネル内のラジオは、防災情報を流すためのもの。たとえトンネルの距離が短くても、必要ではないか？
- ・津波避難道の充実化、高台への誘導路。
- ・防災放送の聞こえが悪い地域に対してどのように対応するのか（何を言っているのか、よくわからない）。いざという時には間に合わない可能性が高い。聞きづらい地域の確認と対策を！
- ・民生委員の活躍。独居老人、子供たちの安心安全の生活が出来る様、見回り等を行う。
- ・鴨川市全体が、地震や津波時に安全なのか不安。子供やお年寄りもスムーズに避難できる高台などを早急につくってほしい。これからも鴨川市に住み続けたいと思っているので、まずは、地震や津波などの自然災害から身を守れるような、安心・安全な町にしていきたいと思っています。

◆ 清掃・美化関連（延べ 19 件）

- ・海の清掃をやった方が良い。砂地、ガレキなど。
- ・鴨川という地をこれ以上汚染させないで下さい。幸い、震災後の汚染は他地域にくらべると少なく、子どもにとってもいい環境だと思います。鴨川の安全性をより向上させ、クリー

ンなどところをもっとアピールしていただきたいです。

- ・北部道路の花壇、なくてもよいのではないのでしょうか。田園風景が美しいですし、お花の管理が出来ておらず、草の方が伸びていたりしています。かえって、きたないです。又もったいないと思います。

- ・道路や歩道の草、何とかありませんか？

- ・国道の花壇のことですが、車で走ってパッと見ても手入れが行き届いてなく草がぼうぼうになっている時の方が多いように感じます。良い方法はないものなのでしょうか…？これも税金で賄われているんですね。

- ・友人を連れて来て楽しめるような町であってほしいです。海がキレイであれば良い遊び場になると思うので、美化活動などがあつたらぜひ参加したいです。

◆ 自然環境の保全（延べ 12 件）

- ・鴨川市の自然豊かな土地、空間を更にアピールし、食の安全（無農薬野菜 etc.）、土地・水・緑を美しく保つまちづくりができれば嬉しい。フリーエネルギーなど地球に優しいまちづくりを行うことで、住民も心豊かに生活でき、都会に住む健康志向の方も鴨川に來たい、住みたいと思うようなまちづくりができれば良いなと思います。

- ・豊かな自然環境でとても住みやすい街だと思うので、もっとアピールしてもよいのでは。

- ・森林、里山を整備してほしい。

- ・耕作放棄地の活用。

- ・インフラの整備。山の手入れ→海の浄化へとつながる（長野県の山の手入れ状況を参考に）。

- ・進めてほしいのが景観づくりと利便性、防災を優先しながらも無二の景観を残すこと、美しい景観は地域の財産ですし、どの人の心にも寄り添います。

◆ 環境対策（延べ 2 件）

- ・原子力に頼らないクリーンエネルギー、太陽光等、積極的に取り入れ、市民が少しでも暮らしやすいように提供してくれませんか。そうして鴨川市もクリーンエネルギーを使って市が豊かになる施策が生まれるのではないかと思います。

- ・再生可能エネルギー、循環型の地域づくりをして観光と結び付け、より多くの観光客を呼び込む。そのために代替エネルギー生産企業を誘致する。温暖、医療の充実、豊かな自然と食材、エネルギーの自立、魅力的なまちづくりをして、移住者を増やして下さい。スーパーなどで廃油の回収をする。

3 交流・人権

(16) 地区コミュニティ施設の充実や地域活動の促進 [11 件]

- ・自治会への加入促進のため、個人情報取り扱いはくれぐれも慎重にお願いしたい。

- ・婚活事業の更なる P R に合わせて、関連セミナーなどの開催も検討してほしい。

- ・地区公会堂の固定資産税を減免してほしい。
 - ・地域のコミュニティを守るため、自治組織への加入率を上げる施策を推進してほしい。
- 〔2件〕
- ・自治組織への加入の有無に関わらず、回覧板を回付するための新たなネットワークの創設等について検討してほしい。
 - ・地域コミュニティの活性化が必要〔2件〕
 - ・住民主体のまちづくりを推進するため、地区等一定単位での「まちづくり協議会」を設置する。
 - ・若年層が交流できる環境づくりを行う。
 - ・地方ならではの良さである「人と人とのつながり」をより一層深める。

(17) 市民と行政との協力（協働）によるまちづくりの促進〔11件〕

- ・道路の草刈り、海岸清掃、花壇の整備などでも、「まるごみ運動」のように、市民が一体となり、協働で取り組めるようにしてはどうか。
- ・地域の活性化に取り組むに当たっては、個別の小地域のみならず、近隣地域との連携・協力についても配慮してほしい。
- ・各市民活動団体からまちづくりに関する意見聴取を行ってはどうか。
- ・連携した事業展開を図るため、行政、商工会、観光協会等が一堂に会せる施設の建設について考慮してほしい。
- ・計画策定には、商店街の事業者並びに地域住民との意見交換が重要であることから、行政と関係団体が連携していく必要がある。
- ・市民主体又は参画によるまちづくり、地域活性化方策の立案などを促進すべき(2)
- ・市民と行政との意見交換の場を増やす。
- ・行政の役割の見直しと民間主導による取組みの促進を図る。
- ・「市の役割」「市民の役割」「市がやるべきこと」「市民でできること」を明確化する。
- ・勝浦市の「勝浦タンタンメン」のように、市民と行政が一体となり取り組むことのできる協働事業が欲しい。

(18) 新たな会館施設の整備促進〔3件〕

- ・新たな市民会館の立地については、現在の場所も含めて再検討をしていただきたい。
- ・新たな市民会館の計画を早く進めてほしい。
- ・多目的施設の立地に当たっては地権者や地区の人としっかり交渉していただきたい。

(19) 国際交流、姉妹・友好都市との交流活動の促進〔2件〕

- ・海外から魅力的に感じられる都市を目指してほしい。
- ・教育の場と連携した国際交流活動について、計画に盛り込んでほしい。

(20) 大学との連携・協働による地域課題等への取組みの促進〔2件〕

- ・地域福祉に係るボランティアへの学生の参画について、市内の大学に対して市から働きかけをし

てほしい。

- ・大学生が地域と交流することで、市の活性化に貢献できるのではないか。

(21) 男女共同参画社会づくりの推進 [1 件]

- ・父親の育児休暇取得の推進を図る。

◆ 地域活動の促進関連（延べ 18 件）

- ・若い人達の出会いの場が少なく未婚者が多いので、市で街コンや婚活イベントをもっと主催してもらって、若い人達の出会いの場を作るとともに、若者の活気を取り戻してもらいたいと思います。婚活イベントに積極的に取り組む市としての町づくりも、今後大切だと思いますのでよろしくお願いします。
- ・鴨川をアピールするイベントなどしてほしい。館山等ではイベントがあっても鴨川では少ない（自転車のイベントも通過するのみ。鴨川発のイベントがほしい）。
- ・公民館活動も重要な一環となる。
- ・何かを行うに際しても市民全体が協力しないと大きな力にはならないと思います。その為にもっと行政が様々なプランを市民に呼びかけてもっとリードして頂きたい。
- ・年間を通して町おこしのイベント等、少ないかも。

4 健康・福祉

(23) 地域における健康づくり活動の促進 [3 件]

- ・ストレッチやラジオ体操など、介護予防に資する健康づくりに関して、説明や指導、PRを積極的にしてほしい。[2 件]
- ・市内の公共施設や公園に健康づくりのための健康遊具等を設置する。

(24) 地域医療環境の充実（看護師の確保、国保病院の整備充実など） [6 件]

- ・国保病院の耐震化にしっかりと取り組んでもらいたい。
- ・市内に立地する高度医療施設との連携強化 [2 件]
- ・医療施設の更なる充実に加え、担い手となる人材の育成を図る。
- ・本市の特徴である医療を活かしたまちづくりを進める。
- ・医療環境充実のため、市内医療機関や大学・高等学校等との連携を図る。

(25) 低所得世帯等への社会保障の充実 [1 件]

- ・生活困窮者自立支援制度へ適切に対応するとともに、特にひとり親家庭への総合的・包括的な支援の充実強化をお願いしたい。

(26) 保育サービスの充実、施設の整備 [4 件]

- ・保育施設（託児所を含む）の充実を図る。

- ・共働き世帯を支援するため、延長保育の充実を図る。
- ・民間主体の保育施設の整備などに対し、市が積極的な支援を行う。
- ・共働き世帯にとって現在の幼保一元化施設では閉所時間が早く、また休日や夏休み中の対応も十分とは言えないことから、これらサービスの拡充を図る。

(27)子育て支援施策の促進 [11 件]

- ・全ての学童保育で同様の保育環境が得られるよう、同額の補助金をいただけないか。
- ・少子化防止対策として学童保育を充実してほしい。
- ・働く女性が子どもを産み育てやすい環境を整えてほしい。
- ・子育てボランティアへ対する市の応援をお願いしたい。
- ・施設の整備や預かり保育の延長など外形的なことも大事であるが、保育料などの保護者負担を軽減することを考えてほしい。
- ・若年層の定住を促進するため、子育て世代が安心して働くことのできる環境をつくる事業を進めてほしい。
- ・子育て世帯が安心安全に子どもを育てられるよう相談窓口等を充実させる。
- ・子ども医療費の完全無料化、第3子以降の出産祝金の増額など、子育て世帯に対する各種支援措置を拡充する。
- ・子育て世帯を対象に、家賃や住宅ローンの一部助成を行う。
- ・子育て世帯に対する新たな生活支援策を検討する。(水道料金の減免など)
- ・現金給付や現物給付のみならず、親子の絆を育むための事業を検討する。

(28)高齢者施策の充実（見守り・支え合いの仕組みづくりなど） [10 件]

- ・高齢化及び人口減少の対策として、市が置かれている現状を市民に把握してもらう機会を設けるべきである。
- ・独居高齢者の見守り支援を充実してほしい。
- ・高齢化社会に対応するため、生活・介護支援サポーターをはじめとする官民協働施策の拡充をお願いしたい。
- ・大型商店の進出により地域の既存商店が衰退・閉店している現状から、高齢者等の買い物弱者を救済する施策として、コンパクトシティの形成を検討してはどうか。
- ・中高年齢層の積極的な受け入れによる地域経済の活性化及び雇用の創出が期待できる鴨川プラチナタウン構想の実現 [3 件]
- ・福祉施設の更なる充実に加え、担い手となる人材の育成を図る。
- ・高齢者の移動及び買い物等への効果的な支援施策を検討する。
- ・高齢者に対する社会保障制度の充実などを図る。

(29)障害者施策の充実（自立支援、バリアフリー化の推進など） [4 件]

- ・障害のある子どもを安心して預けられる障害児通所施設を設置してほしい。
- ・市内各スポーツ施設のバリアフリー化をお願いしたい。

- ・ 公共施設等におけるバリアフリー化の推進を図る。
- ・ 公共施設等におけるバリアフリー化の推進を図る。

◆ 子育て支援関連（延べ 22 件）

- ・ 中心地しか子育てができない街は拡大しない。人口減を止めて欲しい。
- ・ 若い世代の家族が他から引っ越してくる位、子育て支援等を充実させるのも一つの手である（他の市町村から人を呼び込む施策）。
- ・ 鴨川市は亀田病院があり、子どもがいる家族にとっては安心な街だと思いますが、子どもの教育や遊びなどには少し不便を感じます。
- ・ 子供を育てるのに、もっと遊び場がほしい。雨でも遊べる室内や親同士が子連れでも気楽に入れる施設や飲食店など。託児所付きの職場を増やす。
- ・ “子育て支援”についても働きたいのに保育園に空きがなかったり、平日に休まなくてはいけない事が多かったりすると安心して働きません。保育士が足りないなら年度の途中であっても増やして頂きたい。遠くの園なら空いています、職員を増やす予定はありません、では困ります。結果、鴨川市から出て行く人もいます。

◆ 高齢者の生活支援関連（延べ 21 件）

- ・ 特別養護老人ホームなど高齢者施設を増やしてほしいです。他市町村に比べ、高齢者福祉が遅れているように思います。
- ・ 高齢者も年をとっても元気はあると思うので、活動・活躍のできる場が必要となる。
- ・ 健康増進（寝たきりをつくらない！）のための公共施設の場。
- ・ 市政全般に対し、効率化・スリム化は必要であると思うが、市民の高齢化、一人生活が増加している中、対応ももう少し考えていった方がよいと思う。単にバスを走らせれば良いというものではない。
- ・ 医療、福祉は充実しているとは思いますが、それを上回る高齢が現状であり、独居老人への対応や低所得世帯への対応など、更なる充実を望みます。皆に当たり前にやってくる「老い」に対し、不安があるような「まち」ではないと思います。安心して年を取り、余生を暮らせる市であって欲しいと思います。財源の確保も大切だと思いますが、目に見える形で繁栄されれば、税金は上がることも納得し、我々働ける世代ががんばることで老後の安心も得られるのではないのでしょうか。災害時の早期避難など、老人が増えている地域では大きな問題だと思われます。

◆ 医療関連（延べ 11 件）

- ・ 国保病院の充実化。医療、交通。
- ・ 子供の医療費（中学校 3 年まで）の無料化。
- ・ 医療、福祉の充実。
- ・ 亀田病院や看護大学、JIU などの大学や医療施設が存在しているので、都市部より高齢者などが移住しやすい環境や対策をしていくべき。医療都市を目指す。

5 産業・経済

(30) 商業の振興（商店街の活性化支援等） [7 件]

- ・大手スーパーの立地や後継者不足などにより、市内商店の多くが閉店しているため、市で空き店舗を借り上げるなどの対策をしてはどうか。
- ・官民一体となった商店街の活性化施策を進めてほしい。
- ・市の玄関口である鴨川駅前の再生について検討してほしい。
- ・空き店舗を活用（借用）した新規開業者に対する補助制度を創設する。
- ・芸術家に空き店舗を無償で貸し出すことにより人口の増加を図るとともに、芸術家の持つ技術を活かし空き店舗の再生を図る。
- ・鴨川フィッシャリーナ後背地に、海鮮レストランや海産物の土産店等から成る商業集積地を形成する。
- ・新町通りにおける歩行者天国を復活させる。

(33) 農業の振興（生産基盤整備、担い手育成、有害鳥獣対策など） [14 件]

- ・米価の低迷等を踏まえたうえで、農業に関する具体的な施策展開をお願いしたい。 [2 件]
- ・中山間地域の現状を把握したうえで、地区に合った施策を考えてほしい。
- ・南房総市で行われている薪暖房器を取り入れられないか。
- ・農業を担う人材の育成を積極的に進めてほしい。
- ・農業の現状と国策の動向を的確に把握し、それに伴う振興策を計画に盛り込んでほしい。
- ・本市の第1次産業従事者は、他地域に比べ比較的恵まれていると思われることから、第1次産業が更に良い方向に伸びるような施策を進めてほしい。
- ・農村風景維持の観点からも農業に関する施策を重点的に実施してほしい。
- ・農業生産法人をはじめとした営農の組織化・法人化の促進による持続的な発展を図るべき(2)
- ・高付加価値農産物の生産拡大に関する取組が必要
- ・アンテナショップの拡充、海産物の缶詰製品化など、販路の拡大を図るべき
- ・若年層を中心とした新規就農希望者に対する効果的な支援施策を検討する。
- ・長狭米のブランド化を推進することで価格を安定させる。

(34) 水産業の振興（漁港の整備、水産資源の増繁殖の促進など） [3 件]

- ・サザエやアワビなどの棲家を作る根付けに取り組んではどうか。
- ・民間主体で漁民用集合住宅を新築する場合に市で補助を行う。
- ・船上活〆等の技術を活かした他地域との差別化により、より一層のブランド化を図る。

(35) 畜産業及び林業の振興 [2 件]

- ・森林資源を活かした地場産業の起業などを促してはどうか。
- ・市内の牧場で育成されている黒毛和牛を市のPRに繋げる。

(36) 第 1 次産業の 6 次産業化又は農商工連携の推進 [4 件]

- ・本市の基幹産業の育成を図る施策について、官民連携により推進してほしい。
- ・地元産品の育成、ブランド化への支援を積極的に行ってほしい。
- ・良質で安全な商材の企画開発に加え、鴨川の個性ある商品としてブランディングを行う。
- ・ 6 次産業化の取組みを活かし、鴨川オリジナルメニューを開発する。

(37) 都市と農山漁村の交流促進 [1 件]

- ・体験メニューの充実などにより、都市農山漁村交流をより一層推進する。

(38) 移住・定住の促進（住宅の取得等支援、U J I ターンの推進など） [9 件]

- ・若者（子どもたち）が定住するための効果的な施策を検討してほしい。 [2 件]
- ・移住祝金制度の創設等に加え、アーティスト等の移住を募ったらどうか。
- ・市内の学生を対象とした定住促進策として、3 年程度の家賃補助などを検討してはどうか。
- ・婚活事業の充実を図る。（イベントのみでなくオープンカフェのような出会いの場の提供など）
- ・移住者に対する支援措置を拡充する。
- ・古民家の整備を行い「田舎暮らし」を P R する。
- ・プラチナタウン的なまちづくりを進める。
- ・婚活事業の継続並びに積極的な推進を図る。

(39) 企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保 [9 件]

- ・企業誘致による雇用の場の確保が必要 [2 件]
- ・企業を誘致し雇用の拡大を図る。
- ・自然環境を活かした新たな産業の創出を図る。
- ・新規起業家に対する支援措置を創設する。（市税の減免措置など）
- ・企業の誘致においては、南房総市の好事例である「遊休施設を活用した I T 企業の誘致」を参考に
にする。
- ・新卒者の就職先を充実させる。
- ・雇用主に対する助成制度を新設する。
- ・ S O H O 起業の支援策として、情報基盤の整備を進める。

(40) 雇用対策の推進（ハローワークの機能充実、求人情報の提供など） [3 件]

- ・官学の協働により、学生の地元企業への就職を推進する。
- ・ふるさとハローワークの活用をより一層推進する。
- ・求人情報を携帯電話等から簡易に検索できる仕組みを構築する。

(41) 観光関連施設の整備（観光案内看板の設置、街路灯整備など） [13 件]

- ・現市民会館を移転した場合には、その跡地を観光関連施設に活用してはどうか。（津波避難タワー
を兼ねた有料の立体駐車場、商業スペース、バスターミナルなど） [2 件]

- ・海水浴場近くの公衆トイレの更新を検討してほしい。
- ・フィッシャリーナにおいて、複合型観光施設及び観光漁船の検討を行ってはどうか。
- ・姉妹都市であるマニトワック市へ鴨川物産館を設置してはどうか。
- ・既存の観光資源を有効活用するためにも、環境整備（駐車場整備、看板設置等）を進めてほしい。
- ・駅周辺の商店街の再生及び開発をはじめ、フィッシャリーナ後背地から市民会館までを含めたプロムナード周辺一帯に係る利活用の検討など、観光客が再び訪れたくなるようなまちづくりを進める必要がある。
- ・海水浴場の再整備等による海水浴客の誘客促進【3件】
- ・宮山地区「梅の里」のような新たな観光施設を積極的に整備する。
- ・若年層向けの観光施設を充実させる。
- ・景勝地等の観光名所における駐車場を確保する。

(42) 観光資源の発掘・創出（滞在型・体験型観光の推進など）【16件】

- ・耕作放棄地のうち、景観の良い箇所を活用して、花を植栽し観光資源としてはどうか。
【2件】
- ・花木を中心にした通年観光の里づくりが必要である。
- ・嶺岡山系の城跡を活用して、一戦場との相乗効果で観光資源としてはどうか。
- ・観光資源としての可能性を探るため、地元に伝わる民話の調査を行ったらどうか。
- ・魚見塚をテーマに鴨川の情話を手掛けてはどうか。
- ・やんざ節のように鴨川音頭等に合わせた踊りの開発をしてはどうか。
- ・鋸南から長狭にかけて、水仙の里を延伸してはどうか。
- ・地域資源の観光資源化と担い手育成を推進し、鴨川のイメージを確立してほしい。
- ・新鮮な海産物を活用した朝市の開催や「食」の提供など、海岸や漁港を核とした新たな観光拠点づくり【4件】
- ・滞在型・周遊型観光に資する多様な観光プランの立案と周知が必要
- ・農漁業と観光を結び付けることで新たな観光資源を創出する。
- ・農家民泊や漁業体験メニューの充実を図る。

(43) 誘客の促進（観光イベントの開催、観光情報の発信など）【12件】

- ・おらが井の更なる定着に向け、新たな事業展開を図っては。
- ・四国八十八ヶ所霊場巡りにならない「鴨川福運めぐり」を設定したらどうか。
- ・海に面しない県の中学校を対象として、修学旅行の誘致を図ってはどうか。
- ・観光プラットフォーム推進協議会では、現在、観光が向かうべきコンセプトをつくり上げているところであるが、次の段階であるコンセプトの戦略的な表現及び訴求について、そのプロセスを総合計画に反映させてほしい。
- ・観光イベントの開催による誘客を図るべき【2件】
- ・観光PRの強化が必要【4件】
- ・若年層向けのイベントを充実させる。

- ・絶好のロケーションを活かし、映画等のロケ地として売り込みを行う。

(44) 外客受入れ体制の充実（近隣市町、観光関連団体との連携など）〔4件〕

- ・関連企業と連携し、市内遊覧の観光バス又は観光タクシーを検討したらどうか。
- ・旅行会社等とのタイアップによる事業拡大を図るべき〔2件〕
- ・花火大会等の開催に当たり市民協賛金を募る。（用途や内訳は可能な限り公表する）

◆ 娯楽関連（延べ5件）

- ・千葉県は子供連れで遊べるレジャー施設が多いのが特徴だと思います。この利点を今後活かし、地元住民も子どもを連れて遊べる施設を充実してほしい。たとえば、「大人の本屋」というコンセプトで作った代官山の TSUTAYA のように、「子供のための本屋」とか「図書館」とか…。
- ・若い人たちが楽しく過ごせるように娯楽施設や買い物できる店等、誘致してほしい。
- ・文化ホール、映画館、ショッピングモール。習い事、巨大入浴施設、古民家再生…。
- ・他にレジャー施設が無く、毎月、君津方面や館山方面へ行き、お風呂や食事を楽しんでいますが、鴨川には何も無く、不満に思います。大江戸温泉等のような家族で楽しめる所を計画してほしいと思います。
- ・映画館や大きな本屋が近くになく不便を感じる。

◆ 定住促進関連（延べ19件）

- ・公営住宅を充実させて、転入を推進し転出を防ぐ。
- ・若い人が住み続けやすい市にして頂きたい。子育て環境など、一軒家の賃貸物件など。
- ・市営住宅の増設。
- ・空家が増えてきている。他県からの入居者等に情報を発信し、少しでも若い方を呼び込んで欲しい。
- ・高齢化で手がつけられなくなった土地（竹林、山林など）が沢山あります。市道の草刈りも不十分です。景観が損なわれています。土地住民だけでは力不足です。移住してきたい都市からの若者たちのニーズ（仕事、家）とからめて、何とかできないだろうか？

◆ 有害鳥獣対策関連（延べ7件）

- ・いのしし、さる、しかの駆除（はくびしん）。作物を作っても皆食べられてしまうので作らなくなっている農地が荒れている。
- ・近年、いのしし、シカ等が当地区でも多く出没するようになりました。ダニやヒルのせいで野山に子どもを連れて行くことも出来なくなっていました。市でも駆除にもっと力を入れて下さい。

◆ 買い物の利便性関連（延べ18件）

- ・店が少ない。

- ・大型ショッピングセンターの誘致（ベイシアはスーパーだと思う）。→土地を有効利用する。
- ・鴨川にはいろいろな商店・店舗があるが専門的というか、いざ買いたいと思う必要な店がない。その為、わざわざ他へ出かけなければならず不便を感じる。
- ・マリーナに水産・農産物を売る市場を作ってほしい。レストランなど地元の物を使っの飲食をさせる店も作ってほしい。
- ・商店街がやせ細り、我々はいつの間にか買い物弱者になって、近所には店が無くなる。

◆ 働く場の確保・企業誘致関連（延べ44件）

- ・雇用につながる事業があれば良いと思います。若い人も地元で働ける様に。
- ・若者が働ける職場を増やせる様に、努力して欲しい。
- ・この狭い鴨川市では企業誘致は無理なのでしょうか。観光、農業、漁業だけで現在の子ども達が地元就職できず他県へ流出しています。雇用確保が安定していければと切に願っています。
- ・市の財政を将来的に強固にしていくには、まず、もっと多くの人（若い人）に住んでもらい、税収入を増やすことであると思う。そのためには、雇用の確保が重要で、新たな産業の開発や企業の誘致を積極的に行う。例えば、自然エネルギーの開発（風力・太陽光も含めて）や地元の気候や風土を生かした産業など、将来的に成長しそうな分野に注目し、多くの企業・人に住んでもらうことである。人がいなければ「まちづくり」どころではないので、まずは人口を増やすことであると思う。
- ・雇用の促進。若い人が進学・就職しやすい環境作り。
- ・子供がいても働きやすい職場ももっと増やして欲しい。施設を整えるだけで終わりにするのではなく、預りの時間の延長や平日の職員研修時に預かりを実施する等も行なって欲しい。鴨川は子育てがしやすい、と言われる様な市になると良いと思います。

◆ 第一次産業関連（延べ8件）

- ・農業の”あとつぎ”がないと聞きますが、豊かな農地を荒れさせない為にも、都会から来る農業希望者に農地を貸す制度をつくってほしい。
- ・耕作放棄地の再利用（間に市などが入り、農家と新規農家の橋渡しになれると良い）。農業・漁業の若手の育成。
- ・教育も大事ですが、鴨川は第一次産業に力を入れて、鴨川に来た観光客が喜んでもらえるような食材が沢山あるので、そういったところに力を入れてみてはどうかと思います。

◆ 観光関連（延べ29件）

- ・体験型の観光があるといいのかな…と思いました（ひじき狩りや漁業等の）。
- ・もっと観光業に力を入れて頂きたい。良い自然があるので、もっとメディアに出すなどして、人を呼び経済を活性化してほしい。
- ・海や山と自然が多くとても魅力的であるので、まちづくりの強化、観光地としてもっとPR

していくのがよいと思う。

- ・観光地なので仕方ありませんが、観光業にお金をかけすぎていると思います。観光業が地元の農海産物を気持ち高値で購入し、還元されていけば良いのですが…。観光 PR のチラシ、のぼり旗等、ムダなものも多い。

- ・観光で来た方達の案内・道路標示等がわかりづらい。

- ・観光地として、おもてなし。観光施設の充実。市の積極的な観光アピール。

- ・「おいしい、安い」メニューの開発、勝浦のような。観光地としての宣伝効果のある食品、食事内容を。個々の店ではなく「鴨川」で飲食（土産品を含む）したら、どこの店でも新鮮でおいしい野菜、コメ、魚介が食べられる、という「鴨川」にこだわった飲食店にする（鴨川ブランド）。旅行業者との提携を進める。自然環境、食材に恵まれた鴨川なので、観光地として更に、発展させたらどうか。

◆ まちの活性化関連（延べ 17 件）

- ・農薬などのない作物による健康な食材の提供で、健康推進のまちにできたらいいです。

- ・地産地消、魚と野菜豊富な鴨川を他県、首都圏の人にアピールして欲しい。

- ・6 次産業を進めて欲しい（共同で使える施設などの建設など）。

- ・地産地消の強化。特産物のさらなる PR（長狭米）。とにかく PR が下手！！

- ・鴨川の魅力と言え、豊かな自然。ただもう一押しがないから、いまいち盛り上がらない。なので鴨川らしくインパクトのあるものをどんどんアピールしてみてもいい？ 魅力はなければつくるもの。

- ・商店側も閉まりっきりで何もないので、新しくつくりなおしたり、新しい商売をしていったらいいと思いました。

◆ 物価が高い（延べ 3 件）

- ・物が高い。

- ・福島県いわき市から自主避難しています。鴨川市からの支援をとてありがたく感じています。来年の 3 月で支援も打ち切られてしまうので、新しく家を探したりしているのですが、家賃が高くて大変です。

- ・東京並みの家賃、土地では、住みたくなくなるかも…。

6 生活基盤

(45) 国・県道など幹線道路網の整備促進 [18 件]

- ・鴨川有料道路の無料化を促進するべき。 [2 件]

- ・崩落の影響で通行止めとなっている県道市原天津小湊線の復旧を急いでほしい。

- ・長狭街道のうち、平塚入口交差点から鋸南保田までについて、歩道付きの拡幅整備をお願いしたい。

- ・国道 410 号の狭隘箇所の整備を促進してほしい。

- ・ 県道千葉鴨川線の駅前交差点付近における渋滞解消を図ってほしい。
- ・ 50 年スパンの長期的な視点で基幹道路の改良に取り組んでほしい。
- ・ 県の県都 1 時間構想が実現するように、道路整備を促進してほしい。
- ・ 県道鴨川保田線の長狭高校交差点付近における渋滞解消を図ってほしい。
- ・ 県道天津小湊田原線の歩車道の境界の明確化や鴨川保田線への横断歩道の増設を検討してほしい。
- ・ 観光シーズンにおける市内の渋滞緩和策を検討してほしい。
- ・ 信号機の設置、施設の立体化等による交通渋滞の解消が必要 [3 件]
- ・ 高速道路へのアクセス性を向上すべき [2 件]
- ・ 幹線道路網の整備により、高速道路までのアクセス時間の短縮を図る。 [2 件]

(46) 市道の整備（舗装・側溝整備・拡幅など） [16 件]

- ・ 道路改良(市道の拡幅など)、道路改修(市道の舗装・側溝整備など) の促進 [12 件]
- ・ 角地以外でもセットバックした土地を市で買い取ってほしい。
- ・ 安心して歩ける道路の整備に力を入れてほしい。
- ・ 防災・交流・買い物弱者救済などに資する施策を推進するため、道路整備を進めてほしい。
- ・ 住みやすい環境づくりに資するため、市道の整備促進を図る。
- ・ 様々な要因に基づく整備優先性のランク分けを行うことで効率的な道路管理を行う。

(47) 公共交通の便の充実（鉄道、高速バス、市内路線バスなど） [14 件]

- ・ 鴨川駅方面から長狭街道を通して都心との間を結ぶ高速バスを運行してほしい。 [2 件]
- ・ コミュニティバスの料金の設定について、安価になるよう見直しを願いたい。
- ・ 大学線の利用者が少ないように感じるので、運行について再検討してはどうか。
- ・ 運転免許証の自主返納に当たって、公共交通機関の料金割引きなどを促進してもらいたい。
- ・ 高速バスターミナルを設置してほしい。
- ・ バスやタクシーといった交通手段の拡充 [3 件]
- ・ 鉄道の輸送時間の短縮が必要 [2 件]
- ・ 高速バスの運行経路の見直しにより、通勤圏域の拡大を図る。
- ・ 既存のコミュニティバスだけでなく、ワゴン車などによる小回りのきくデマンド運行を新たに検討する。
- ・ 高速バス利用者のための駐車場を整備する。

(48) 下水路・排水処理施設の整備 [1 件]

- ・ 下水路の整備など生活基盤の充実を図る。

(49) 都市計画マスタープランに基づく計画的な土地利用の推進 [14 件]

- ・ 都市計画区域の範囲について見直しをお願いしたい。
- ・ 地域の現状を踏まえた都市計画としてほしい。
- ・ 産業別ゾーン化の導入やコンパクトシティ化による、コミュニティ豊かなまちづくりを実現して

ほしい。

- ・観光客等には繁華街や歓楽街は必要であるが、風営法の規制により住宅地域内の深夜営業が禁止されていることから、飲食店を集約してほしい。
- ・駅周辺の商店街の活性化を図るべき〔7件〕
- ・歩いて過ごせるコンパクトなまちづくりを進める。
- ・住宅地区の指定により、町並み景観を保全する。
- ・まちづくりに当たり、土地の利用形態も含めて地区別のグランドデザインを描く。

(50) 住民の憩いの場の整備充実(公園、緑地、水辺など) 〔延べ2件〕

- ・遊具がそろい、且つ子どもからお年寄りまで1日ゆっくりと過ごすことのできる大規模な公園を整備する。
- ・市民の憩いの場となる大規模な公園を整備する。

(51) 住宅・住環境の整備支援(耐震診断、リフォーム支援など) 〔2件〕

- ・既存の「マイホームこころ配り事業」に加えて、新築時の土地購入に対する市の補助制度を創設する。
- ・観光面だけに捉われず、地域の環境に調和した住居環境を整える。

(53) 治山治水事業など防災対策の推進 〔2件〕

- ・森林機能の低下を防ぐため、山林の間伐を支援してはどうか。
- ・治山治水事業に対する十分な予算の確保などについて、国や県に働きかけてほしい。

(54) 上水道施設の整備等による安全で安定的な浄水の供給 〔1件〕

- ・水道料が高い。

◆ 道路、公共交通関連(延べ110件)

- ・嶺岡トンネルは自転車・歩行者にはとても危ないと思います。自動車でも通り過ぎる時も危険に感じます。中の空気、排気ガスも気になります。早く整備をお願いします。
- ・鴨川は車がなければ生活ができない街である。これは中心地に住人がいても同じである。車での生活の便を重視していくことは、生活の基幹である。駐車場・道の整備が重要である。車がない人、年寄りの「足」をどうするか。小型のバスを多く、ルートも多く走らせることが大切である。幹線道路だけでなく、生活道路を走るバスを整備し、いつでも、どこからでも、お年寄りが買い物に出られるようにして欲しい。
- ・コミュニティバスの有効活用(運賃の改定・ルート変更)。
- ・高速までのアクセスをもっと良くしてほしい。
- ・通学路がせまいので、もっと安全に子どもたちが通学出来るようにしてほしい。
- ・電車、バスの使い勝手が悪いので良くして下さい。
- ・田舎だから仕方ないのかもしれませんが、もっと街灯を増やすなどして、町全体を明るく

してほしいです。危険な道路が多いので見直しをしてほしいです。

- ・道路の整備（狭い橋、歩道の無い道路等）。鴨川北部道路の全面開通（天津方面への接続）を早く進めてほしい。

- ・鴨川有料道路の無料化。房総スカイラインの無料化。

- ・コミュニティバスよりももっと小回りの利く移送サービス（病院や買物など）のシステムの構築をすすめてほしいです。

- ・細い道のため、救急車や消防車など通れません。もしもの時どうしたらよいか、何とかしてほしい。

- ・渋滞になる場所の道路の見直し。

- ・街灯の設置。止まれの看板。ミラーの点検。駐車場の確保。

- ・館山駅から出ている羽田空港や横浜駅へ行く高速バスのように、鴨川から羽田や横浜へ行く高速バスが出来れば、首都圏の人達だけでなく、関西などの遠方の方達も鴨川に来やすくなるし、鴨川に住んでいる人達も遠方へ行きやすくなって、人の交流が活発になると思います。

◆ 公園関連（延べ 32 件）

- ・子供達が自由にのびのびと遊べる大きな公園やアスレチックなどがあればいいと思う。遊べる場所が少ない。

- ・海岸がきれいなので、大型の横浜のようなすてきな公園をつくり、おしゃれなまちになるといいなと思っています。

- ・学童の遊ぶ場所の確保にご協力下さい。空き地等で遊ばれるのはとても迷惑です。

- ・子育て世代が安心して遊ばせられる公園を整備してほしい。

- ・鴨川市はお年寄りから子供までが利用できる公園がない。むだな小さな公園はいらないと思う。公共施設はなるべく 1 つにかたまって建ててほしい。

- ・大きな公園を作って欲しい。

◆ 上下水道関連（延べ 5 件）

- ・水道水が臭い。

- ・冠水対策として、都市計画、下水道整備計画といった長期計画の立案と実行。

- ・海が好きで鴨川に越して来ましたが、せっかくすばらしいきれいな海がありながら未だに雑排水がそのまま流れている家が多いのを知り、非常に残念に思いました。一つの貴重な財産であるきれいな海を守るため、浄化槽の整備を進めてほしいです。

- ・下水道の整備→豊かな海（海の浄化につながる）を早急に！

- ・川や海の汚水が気になります。一般家庭での不燃物の焼却も同様です。市民皆で意識をもって欲しい。

7 教育・文化

(55) 学校教育の振興（施設整備を含む）〔7 件〕

- ・ 小学校のグラウンドの水はけが悪いことから、整備を検討してほしい。〔2 件〕
- ・ 昔のように地元の優秀な子が長狭高等学校に進学するようにしてほしい。
- ・ 小学校の体育館の老朽化が顕著なため、改修を検討してほしい。
- ・ 地域福祉の充実に係るボランティア活動の重要性を啓発するため、子どもの教育カリキュラムにも取り入れてもらいたい。
- ・ 鴨川市の強みである恵まれた自然環境を教育にも活かしてほしい。
- ・ 共助教育の積極的な導入とその充実を図る。

(57) 小中学校施設の耐震化事業の推進〔2 件〕

- ・ 小学校校舎の耐震化を早期完了してほしい。
- ・ 子供の人数が減り、小学校の統合問題がありますが、現在の旧江見中学は地すべり地帯であり、学校の両サイドの土地が地すべり地帯なのに、学校の部分は地すべり地帯ではないというのは、おかしいと思う。統合するのはしかたがないのかもしれないが、学校に通わせる児童の安全は確保してほしい。耐震工事も、もう 2 回も行っているわけで、本当に安全な建物と言えるのか？新築しても良いと思うが、行政担当者は“お金がない”と言っている。鴨川市の将来を担う子供達を育てるためのお金もないのでしょうか？

(58) 幼児教育の振興（施設整備を含む）〔2 件〕

- ・ 市の保育園・幼稚園においても民間と遜色のない水準でサービスを提供してほしい。
- ・ こども園園舎の雨避けの増設について検討してほしい。

(60) 学校給食の充実（施設の適切な維持管理、地産地消の推進など）〔1 件〕

- ・ 給食の食物アレルギーに対する対応をさらに進めてはどうか。

(62) 小中学校の統廃合に伴う廃校など遊休施設の有効活用〔14 件〕

- ・ 空き施設を有効に活用してほしい。〔12 件〕
 - ※旧主基小学校を学童保育施設として
 - ※旧主基小学校を公民館として
 - ※旧主基小学校へ市民会館を
 - ※旧大山保育園を防災備蓄倉庫として
 - ※江見小学校を公民館として
 - ※江見幼稚園または江見小学校を高齢者のサロン（交流の場）として
 - ※江見地区の小学校を特別養護老人ホーム等として
 - ※曾呂小学校グラウンドを子どもたちの遊園広場として
 - ※旧鴨川出張所を高齢者寄合場所として
 - ※旧小湊中学校について、若い人にとっては休日も使える多目的施設、高齢者にとっては健康施

設として

※宿泊機能を付加することで、東京の大学のサークルやゼミが来るのではないかな。

※主に保育施設、観光産業、学習の場としての活用が挙げられる。

- ・ 支え合いのある地域づくりの核として、遊休施設を様々な形態の複合施設として整備する。
(例) 放課後児童デイサービス、子どもの遊び場、異世代交流サロン、ボランティア活動拠点、
移住者の交流拠点、地域情報発信拠点
- ・ 空き校舎などの遊休施設を「地域防災コミュニティセンター」として活用する。

(64) 体験教室や公民館活動など生涯学習活動の振興 [2 件]

- ・ 会議または文化活動等を行う場合、公民館を 17 時まで利用させてほしい。
- ・ 体感して学ぶといった機会が豊富な生涯学習施策を推進する。

(66) 青少年健全育成活動の促進 [1 件]

- ・ 旧町でのスキー行事のように、子ども達にプラスになる行事を積極的に取り入れてほしい。

(67) 歴史資源や文化財の適切な保全及びその活用 [6 件]

- ・ 城跡などの歴史的資源を活かして地域活性化に繋げてはどうか。 [3 件]
- ・ 大山不動尊の老朽化が著しいので可能な限り修理をお願いしたい。
- ・ 歴史的文化財の利活用を拡大すべき
- ・ 南房総市との連携により、日本酪農発祥の地のブランディングを行う。

(68) 市民の芸術・文化活動の振興 [5 件]

- ・ 地域の芸能をまちの活性化に活用してはどうか。(鴨川おけさ)
- ・ 地区をあげての「主基斎田祭り」をやってはどうか。
- ・ 市民はもちろん市外在住者にとっても魅力のある文化の醸成に取り組んでほしい。
- ・ 芸術・文化施設の充実 [2 件]

(69) スポーツ施設の整備充実 [5 件]

- ・ 旧小学校体育館のトイレについて、日中においても使用させてほしい。
- ・ 陸上競技場を第 2 種公認競技場に戻し、大きな大会を誘致するなど市内外から人を呼べるようにしてはどうか。
- ・ スポーツ大会の開催を通じた PR 活動を促進すべき
- ・ 市内のスポーツ施設の機能をより一層充実させる。
- ・ 県内有数の設備を誇る総合運動施設への更なる投資を図る。(都市公園としての機能付加など)

(70) 市民スポーツの振興(地域スポーツ団体等の活動支援など) [2 件]

- ・ インパクトのあるマラソン大会を毎年開催する。
- ・ 海浜プロムナードを活用し大規模なマラソン大会を開催する。

◆ 学校跡地の利用方法関連（延べ４件）

- ・小中学校の統廃合に伴う、廃校など遊休施設の有効活用についての意見を広くデータを集め、すみやかに活用するよう希望します。例：一般に払い下げる。地域の人々が有効利用。
- ※少なくとも目も当てられぬような姿にはしない様、御願い申し上げます。
- ・統廃合により廃校となった学校の校庭及び遊具を、子供達が自由に遊ぶことができるようにしてほしい。

◆ スポーツ活動関連（延べ７件）

- ・プロスポーツ選手を育成できる街づくり（ゴルフ選手等）。安いゴルフ場が沢山あるのに練習場がない、学校がない（部活）。スポーツ場に貸し出し、ラケットや道具があると人が増え、街としての魅力も増える。
- ・2020年、東京オリンピックが行われる。その際、今あるスポーツ施設をよりよく整備して、世界各国の方々が鴨川市でキャンプするよう誘致したら、よいと思います。
- ・健康の為のスポーツジム。館山、袖ヶ浦のような。

8 その他

(71)その他 [29件]

- ・懇談会の開催時期について、農家の方々にも配慮いただきたい。
- ・懇談会では市職員は前後ではなく、前と側面のみに位置してほしい。
- ・このような場は事業計画策定に大きなヒントを得られ、住民が市政に関心を持つ機会にもなることから、多く設けていただきたい。
- ・高齢者のみを対象としたアンケートを実施してはどうか。
- ・総合計画の計画期間を30～50年スパンにしてはどうか。
- ・総合計画の策定に当たっては、市民が納得し共有できる将来像の設定に努めてほしい。
- ・新たな総合計画の策定に当たっては、現行の計画との整合性にも配慮してもらいたい。
- ・マスタープランの改定に当たっては、危機感と熱意を持って取り組んでももらいたい。
- ・2020年東京五輪の合宿招致に向けた対策推進本部に障害者関連団体を入れてはどうか。
- ・総務省の地域おこし協力隊を鴨川市でも活用したらどうか。
- ・市職員にあいさつを徹底させてほしい。
- ・市民の幸福度をまちづくりの核と位置付け指標を設けてはどうか。
- ・銃器による狩猟を禁止する区域の設定が、現在の住宅などの配置を踏まえていないので、県に変更するよう要望してほしい。
- ・市の施設の利用申込窓口をワンストップ化してほしい。
- ・計画の策定に当たっては市民の声に十分に耳を傾けていただきたい。
- ・小湊にあるグラウンドゴルフ場をもっと安価に利用できないか。
- ・計画の策定に向けた今後の会議の開催予定について教えていただきたい。

- ・国の地方創生に関する取組みをどのように捉えているのか教えていただきたい。
- ・現行の計画における成果や問題点を検証し、新たな計画づくりへ活かしてほしい。[2件]
- ・オリンピック・パラリンピックへの対応状況を教えていただきたい。
- ・鴨川でなければの日常を見つけることが重要
- ・人口減少対策が必要 [3件]
- ・市外者から見た「鴨川の魅力」を聴取し、まちづくりに活かす。
- ・移住促進ばかりに目を向けず、既に住んでいる市民を大切にする。
- ・若者が活躍できるまちづくりを推進する。
- ・鴨川市独自の原付ナンバープレートの作成を行う。

◆ その他（生活環境関連：延べ89件）

- ・自然豊かなのも大切なことだが、住んでいる人間が楽しく住みやすいものでなければ意味がないと思います。是非、この鴨川市に来て良かったと今よりも思えるまちづくりを期待します。
- ・文化的な意識が低いので、市民会館ができてでも運営はむずかしいと思う。
- ・駅近辺の駐車場は、いつもいっぱいようだ。特定の個人が固定的に利用しているのではないのか？
- ・住みやすい街づくりについては、教育施設、福祉施設の面積が人数と見合っていない所があると感じます。
- ・テレビでも多く取り上げられる観光地でもある鴨川が、もっとステキな住みやすくもあり、楽しいところとなることを願います。
- ・どこを見ても老人が多くて若者が居ない。税収がなくて、市の職員も大変だと思います。若い人の働く所があれば地元に残りますが、皆他県、都会へ出て行き、そこに居住してしまいます。老人ばかり、空家が多くなります。
- ・買い物の不便さ、都市へのアクセスの不便さ、子育て環境の不充実が不満。街灯が少ない、舗道がない、夜になると人气が少ない、路上駐車が当たり前（駐車場が目にあるのになぜか路上駐車をしている）、高齢者が飛び出してくる、自転車で道路の中央を走っていたり…など、交通や治安にも不安・不満があります。
- ・鴨川市の“活力あるまちづくり”が未来へと続くように…。今やってほしいこと…婚活ツアー（近隣、木更津等）の中核となり～定住助成～子育て支援～子育てしながらも就労（環境を整えての雇用）（子供2人目も3人目もどんどん市政のBack Up 必要）。人がいなければ、（人が生まれなければ）何も始まらないし、始められない。“鴨川の住みづらさ”に本気で向き合うこと。なぜアパート、土地、高すぎるのか？なぜ物価が高すぎるのに気付かないの？なぜ、市の借金があるからとあきらめるのか？なぜ、他の土地からの移住（老年代含）を勧めないのか？なぜ、これほど温暖な気候、風土に恵まれながらも活かせず…いつも対岸の火事。もったいなさすぎ！（失礼ながら…本気で向き合いました）。
- ・駅付近を商業地域として活性化しないのはなぜか？
- ・子どもが丸一日体や頭を使って過ごせる児童館のような施設を作してほしい。市役所脇で

いいと思う！図書館と陸橋（トンネル）でつなげて！

- ・工業等を誘致する等の考えもありますが、インフラの整備を迅速に行うべきと考えます。
- ・空家の整備。
- ・鴨川駅周辺に有料でもよいので駐車場を作って欲しいです。電車やバスが使えないので。今はイオンの駐車場に車を置いて、電車に乗って東京などに行っています。無料の駐車場は通勤・通学の方が使っていていつも満車です。
- ・若い人が働く場所が少なく、都市部に出たまま、戻ることが出来ない。高齢者ばかりがいる市になってしまう不安があります。若い人が暮らし、安心して生活できる市になるように、官、民、大学、市民が考えていく必要があると思います。
- ・孫をみている立場から。子供の減少、社会環境、親の共働きなど。自分の子育て時代とは大きく様変わりしています。学校の問題、災害時の避難場所（市民の問題でもあります）など様々な悩みを抱えています。親達が安心して、働きながら子育てが出来るよう推進して欲しいと思います。
- ・まず一番はかまがわの人が幸せに毎日生活できるパブリックスペースが大事だと思う。

◆ その他（教育・文化・スポーツ：延べ 21 件）

- ・市民体育館の建設。現場の指導者の意見を取り入れたものにして欲しい。
- ・市営のスポーツ施設等をもっと有効に利用するようにする。
- ・大学を建てたり、スポーツ施設を建てたりしましたが、果たして鴨川市のためになったでしょうか。疑問に思います。有効活用できているでしょうか。
- ・小中学校も子供の人数が減少傾向にあり、近い将来、また統廃合となるのだろうか。統廃合のデメリットにももっと目をやり、長期に渡るビジョンのもとに方向性をさぐって行ってほしい。
- ・個人的意見ですが、少子化になり、各小学校も一学年 10 名位になっている現状ですが、早くから出生の統計もとっているはずなのだから、もっと市・町で対応してもらいたかった（その学年の保護者にアンケートを取るなど色々方法はあると思います）。実際小学校入学になり、子供の行かなければいけない小学校は女の子 1 人で男の子が数名…という感じでは、通わせる保護者からすれば、同性のいる小学校（仮に学区外でも）に通わせたいと思うはずで。それを「学区外だ」とか「保護者が学校を選ぶようになっては困る」という発言をされては、保護者からすれば、ならば早い段階でアンケートをとるなり、意見を聞いて一緒に対策を練ってくれたら…と思います。少人数すぎる学校では集団生活で色々学ぶことも得られず、協調性なども育ちにくいと思います。もう少し、通わせる側の保護者の身になってもらいたいと思います。通わせられるものなら自宅のある小学校に通わせたいです！！

◆ その他（行財政運営・市政：延べ 48 件）

- ・駅周辺の活性化、整備など、優先順位をはっきりとさせて、着々と市政を良い方向にして欲しいと思います。その為には、市民の声や意見などを聞き、何を必要としているのかを行政がしっかりと認識していく事だと考えます。

- ・土地の有効活用がなされないので人口が増えない。
- ・少子化対策を充実し、子供を増やし、人口を増やし、市政の充実を図ってください。
- ・土をだめにしない、農薬・化学肥料は使わず、一生懸命やっている人たちの味方になるような行政。鴨川の豊かな自然を大切にする行政。お金より、人の心を大切にする子どもと老人に優しい行政を切に願っています。
- ・もっと市民の声を聞いた方がいいんじゃないですか？
- ・若い人が夢や希望が持てるようなまちづくりに市民も行政も共に努力しなければならないと思う。
- ・暮れも近づき助け合いの時が来ました。この所、アパートや団地が出来ていますが、寄付金（年数回）はどうなっていますか。昔から住んでいる老人家庭の人達は気持ちよく参加してください（組長経験者）。
- ・何しろ、市民の目線に立って市政を行ってほしい。
- ・まわりを見渡すと結婚していない独身男女の多さに驚きます。先日シーワールドでの婚活パーティの情報を広報で見かけました。少子化、過疎化対策の為に、もっと予算を取って活発な活動がなされる様望みます。
- ・鴨川市は道の駅などに、大変お金をかけているにもかかわらず、行ってみようという気にならない！もっと、他の道の駅を勉強し、魅力あるものにして頂きたい。そして、又、来ようと思えるように。
- ・新しい物を作ることを考えるばかりではなく、昔からある物を大切に保存、整備し、鴨川にはお城はないけれど、神社やお寺がたくさんあり、歴史的な文化もあると思います。生まれた時から鴨川の人でも、看板は見てもそこがどういう所なのか知らない人がいっぱいいる中で、鴨川の良さを他県の方にアピールしようと思っていても無理な事だと思います。まず、地元の人々が地元の事を良く知る事が必要で、市民の協力を得ながら鴨川のいいところを再発見し市民に還元、知ってもらおう。
- ・市の中心だけに目を向けられ、辺地への配慮に欠けている様、感じます。

◆ その他（産業振興関連：延べ 13 件）

- ・道の駅の充実（もっと鴨川市をアピールする場所）。
- ・昔から言えることですが、若者の定着できる環境作りに力を入れるべきです。後継ぎが都会で働かざるを得ない状況が続けば、老人だけの街になり、活気ある街は望めません。
- ・鴨川市特有のみやげ物。
- ・大学は誘致していますが、その大学生のどの位の人が鴨川市に残って仕事をしようと考えているのですか？その疑問があります。大学生活はしかたないが、就職は都市部に流れていることが多いと思います。
- ・道の駅がもっともっと人気が出るように、アイデアをつのって下さい。
- ・各企業、観光地等、おもてなしの志をもって対応して頂きたい。

◆ その他（保健・医療・福祉関連：延べ 13 件）

- ・高齢者にやさしい町に、生活しやすい町にしてほしいです。
- ・福祉関係の人材が不足しています。市の方で人材の確保を推進してもらいたい。
- ・障害者、高齢者等、弱い立場の人々が住みやすい街は誰にとっても住みやすい街です。どうぞ誰にとっても住みやすい素敵な鴨川の街を作ってください。
- ・福祉・医療・子ども教育などの福祉・医療の充実。障害者・高齢者に優しい町づくり。

◆ その他（その他：延べ86件）

- ・市役所のみなさん、税収入が少なく大変だと思いますが、鴨川が今以上に素敵な町になるようがんばって下さい。応援しています！！
- ・もっと地域の人達に関われるようなことをして、地域の人達との交流を深めたいと思っています。ですが、方法もなく、今は特に何もしていません。
- ・今後、鴨川市に住んでみたい、住みやすい街とたくさんの人に思ってもらえるような街作りに期待します。
- ・南房総の美しい風景と気候の良さと人情の温かさに接し、北国からの者にとってどれだけ嬉しかったことか、しみじみと、あ〜っ来てよかったと思っています。益々の鴨川市の御発展をお祈りいたします。
- ・もう少し活気のあるまちづくり、都市づくりを考えるべきだと思います。私も介護をしている人間として、何年かしたら、地域の人々の役に立てる仕事がしたいと思います。
- ・鴨川には潜在能力、というか何でもできる基盤はあると思います。よろしくお願いします。
- ・大学生のまち。観光のまち。農村漁業のまち。花のまち。
- ・この地に住んで36年になり、自分の人生の中でも一番長く住んでいるこの地が大好きである。自然環境を大切に社会福祉・子育て・子供教育、地域の安全・安心・防災対策の力を入れ、住みやすく住んでみたくなる鴨川市になる事を願います。
- ・だれもがいいなーという「まちづくり」が希望です。あたりまえのことですけど、ほっとする町づくりです。なかなか、むずかしいですけど、市民が笑顔でくらせる町にしたいです。
- ・今後も、自然環境を活かしながら、全ての人が住みやすい街づくりをお願いします。娘が大きくなった時、「私の故郷は鴨川」と胸を張って言えるような街になることを祈ります。
- ・アンケート調査ありがたいと思っています。今後とも鴨川をよろしくお願い致します。
- ・若い層の安定生活、高齢者の安定生活が、共に存在・実現する街でありますようお願いいたします。
- ・アンケートの内容が難しすぎて、回答するのが大変だった。もう少し簡単に回答できるような質問内容には出来ないのでしょうか。
- ・現在、鴨川市在住ということは誇らしいことであります。今後も、市民のためにある市政であって欲しいと思います。
- ・日常の生活活動にせいっぱいで、市政のことはあまりよくわかっていないので、思うような回答ができませんでした。
- ・このようなアンケートをまた行ってほしい。
- ・「鴨川市まちづくり」に市民の声を反映させていく旨がよくわかり、アンケートはよいと

思う。市の取り組みについての自分の考え（P8～）等は、議会だより、各市議だより、市広報だより等を読み、できるだけ情報を得た上で記入しようと思ったが、なかなかチェックは難しい。よくわからない点は、どうしても「どちらともいえない」にチェックがいつてしまった。だからこそ、問 19 のように自由に記述できるページがあることはよいと思う。

- ・若者が働く、元気な鴨川市にしてください。

- ・東京→千葉市から鴨川市に移って来ました。鴨川が大好きです。このままの鴨川でいて欲しい。自然と医療が強いイメージのままでいいと思います。

- ・アンケートの問いについて。回答の方法は、良い物は何個でも印を付けてもよいし、悪い物には何個でも印を付けても良い方法のアンケートやりかたに変えた方が良くと思います。

- ・「鴨川市イコール〇〇」という様にわかりやすい特徴があれば良いと思います。

- ・20 年ちょっと鴨川市に住んでいますが、市についてほとんど何も知らないとアンケートに答えながら思いました。しかし、生まれ育った市なので、多くの人にも鴨川市の良いところを知ってもらいたいと思いました。PRの仕方や、住民自身が参加して鴨川市のまちづくりが出来たら良いと思います。